



新年明けまして  
おめでとーございませう

余市町長  
齊藤啓輔

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。  
令和3年の新しい年を皆様とともに迎えることができましたことを大変うれしく思います。

私が行政の舵取りを担わせていただいております。早く2年と4か月余りが経過し、この間、町議会や町民の皆様の深いご理解を賜りましたこと、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により私たちの生活が大きく変化した一年でした。お亡くなりになられた方々には心よりお悔やみ申し上げます。手洗いや手指の消毒をすること、マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保、密を避ける行動をとることなどが生活の中では日常となりました。各種イベントの中止、施設の休館や学校の休業さらには行動の自粛なども余儀なくされました。町としても経済対策等様々な対応をさせていただいているところですが、ウィズコロナの状態は今後も長期に及ぶことが懸念されます。

このような中ではありますが、新型コロナウイルスの流行の反面で、テレワークの導入や時差出勤、オンラインでの授業の受講、オンライン会議システムの利用の増加などといった、これまでも必要とは言われ



新年明けまして  
おめでとーございませう

余市町議会議長  
中井寿夫

希望に満ちた令和3年の新春を迎え、心からお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日ごろから議会活動に対する温かいご理解とご支援を賜り、町議会を代表し厚くお礼を申し上げます。

顧みますと昨年は、世界的に新型コロナウイルス感染症の拡大が進み、我が国でも全国各地で多くの方が感染し、これまでに経験したことのない事態に直面致しました。春には全都道府県に緊急事態宣言が発令され、感染リスクを回避するために外出自粛が要請され、学校の一斉臨時休業、多くのイベントや行事が中止となるなど、私たちの日常生活は大きく変容し、また、消費の落ち込み等により、地域の経済は大変深刻な状況となりました。

我々一人一人がマスクの着用や手指消毒などの感染予防に努め、一日も早く平穏な日常生活が訪れることを願うとともに、現場で大変なご苦労をされております医療や介護等に従事されている関係者の方々に對しまして深く敬意を表します。

さて、国においては、ポストコロナ時代の新しい未来として、「新たな日常」を通じた「質」の高い経済社会の実現を目指し、その原動力となるデジタル化への集中投資・実装とその環境整備を推進し、付加価値生産性を向上させるとともに、成長の果

実を広く分配する中で、誰ひとり取り残されない、国民の一人一人が包摂的で生活の豊かさを実感できる質の高い持続的な成長を実現していくとされていますが、我が国の構造的な問題である人口減少や少子高齢化、また、地域経済の活性化等、諸課題が早期に解決されることを強く望んでおります。

本町でも感染予防対策や経済対策について取り組んでおりますが、今後、町税収入の落ち込みなどで財政は厳しい状況になることが予想されます。このような状況においても、本町の実情に応じた行政サービスの安定的かつ持続的に提供していくことが重要となつてきます。また、防災・減災対策の取り組み、さらに地方創生をはじめ各般の政策を強力におし進め、住民福祉の向上と本町の振興発展に期待しております。

議会といたしましても、人口減少問題、少子高齢化が進む中、その役割は今後益々重要となつてきますが、行政の諸課題の解決に向けて積極的に取り組み、町民の代表として議員一同全力を挙げてその責務を全うしていく所存でありますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が町民の皆様にとりまして、健康やかで幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。